

実践団体情報

記入日	西暦 2019 年 1 月 18 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	「災害に強い街づくり大綱」実行委員会
代表者名	萩原 祐輔
プラン全体のタイトル	地域防災拠点のファーストミッションボックス (FMB) を作る
電話番号	0475-71-3189
メールアドレス	hagiwara.y@powershome.co.jp
実践団体の説明	大綱地区では住民や企業による地域活動が活発で、駅・海岸の清掃活動、花の植栽、ウォークイベント、コンサート、女性塾、交通整理、研修会、合唱会、農業を考える会等 3 百以上の活動を地域主体で実施しております。防災においても、3. 11 東日本大震災以降 1 年、3 年、5 年目の 3 月 11 日に「あれから〇年私たちは何を学んだか」と題した千人規模の復興支援プロジェクトを実施しております。また、被災地に 2 百回以上 (延べ人数約 3 千名) のボランティアバスを出して活動し、被災者の方たちとの交流も大切にしていまいました。
所属メンバー	大里綜合管理(株)野老真理子社長・野老憲一氏 ・富満卓也氏・山本三男氏 NPO 法人市民ステーションまちサポ 林正清子氏 鷗沢司子氏 民生委員 八角榮子氏 大綱白里市市議 森 建二氏 おりかさ整体 折笠文則氏 上の宮自治会元区長・東京消防庁 OB 岡秀樹氏 大綱駅を安全で美しくする会 大野英雄氏 (株)パワーズホーム 萩原祐輔
活動地域	千葉県山武郡市地域 千葉県長生地域 千葉市
活動開始時期・結成時期	1993年

過去の活動履歴・受賞歴	2008年 千葉県男女共同参画推進事業所表彰（奨励賞） 2008年 「子どもと家族を応援する日本」内閣府特命担当（少子化対策）表彰 2010年 地域づくり総務大臣表彰（個人表彰） 2016年・2017年 千葉教育大賞 特別賞 NPO 法人学童KBA スクール
-------------	--

プラン全体の概要	<p>地域活動を行っている有志で実行委員会を組織し、FMB 導入の実績のある飯田市他の視察を実施、</p> <p>ワークショップを重ねて、地域の人たちの力を効果的に防災に結び付けることの出来るFMBを作る。</p> <p>作成したFMBを使用して、地域の人々と防災訓練を実施、更なる改良点を見出しながらFMBの質を向上させ、地域の防災資源として位置付けていき、「大綱」地区の街おこしにつなげて行く。</p> <p>プレゼン資料を作成し、地域にFMBの設置を広く周知する広報活動を実施（行政、学校、各団体等）</p> <p style="text-align: center; color: red;">2018.1.30 飯田市市立病院にて</p> 
----------	---

プランの年間活動記録

	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
4月			
5月			葉山町一色小学校避難所運営委員会視察
6月	実行委員会	イベント準備	「健康祭り」イベントにおいて啓蒙活動を実施
7月	実行委員会	FMB 試作品の作成作業	地域の5団体に FMB 導入の勧誘活動開始
8月		中間報告作業	学童保育(約40名の小学生)において、FMB 試作品を使用した防災訓練実施
9月	実行委員会		
10月			大網白里市安全対策課出前講座・中間報告会
11月		FMB 改訂作業	成人向け FMB 試作品を使用した訓練を実施
12月		FMB 改訂作業 最終報告作業	第2回成人向け FMB 訓練を実施
1月		最終報告作業	
2月			最終報告会
3月			

プラン全体の反省点・課題・感想	<p>当初、飯田市からいただいた FMB データや視察に伺った時に拝見した現物を見ても、正直そのメリットを正確に理解出来なかった。</p> <p>それは、8月に実施した1回目の防災訓練(小学生対象)でも同様であった。中間報告会で種々のご指摘をいただき、国崎先生にご指導いただいた2回目の防災訓練(11月)や3回目の防災訓練(12月)により、やっとその優位性の一部を理解出</p>
-----------------	---

	<p>来たものと思う。反省点は2回目の防災訓練を早い段階で実施出来ていれば、より地域の他団体への周知・広報が進み最終報告会でその進捗をお伝え出来たかと思えます。</p> <p>しかし、今からでも遅くない、活動を継続することで2月の最終報告会では何等かの実績を報告したいと考えております。</p>
<p>今後の活動予定</p>	<p>プレゼン資料（紙ベースと動画使用のデータベース）を活用し、地域の他団体（自治体・学校・自主防災組織・各団体等）への</p> <p>広報活動実施</p> <p>FMBを設置した大里綜合管理(株)には全国から定期的に様々な団体が視察に来社する。先日も島根の団体が来社し、FMBの資料請求がありました。全国への広報活動も実施してまいります。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2019 年 1 月 18 日 (2018 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	「災害に強い街づくり大綱」実行委員会
実践番号	1
タイトル	地域防災拠点のファーストミッションボックスを作る
実践担当者のお名前	萩原 祐輔

実践にかかった金額	ほぼ 30 万円未満
実践の準備にかかった時間	数ヶ月
実践活動を実施した日時	2018 年 1 月 30 日 18 時 00 分～2019 年 2 月 23 日 17 時 30 分
実践の所要時間	200 時間
実践の運営側で動いた人の人数	13 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (低学年)・小学生 (高学年)・中学生・高校生・大学生・外国人留学生・教職員/保育士等・保護者/PTA・地域住民・社会人/一般・女性・障がい者・高齢者・防災関係者・全ての人々・その他
防災教育の対象者の人数	約 100 人
実践を行った都道府県と市区町村	千葉県 大網白里市
実践を行った具体的な場所	大里綜合管理株式会社
★実践に必要な特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	パワーポイントの作成・編集

達成目標	<p>東日本大震災が発生し、防災の重要性を考えていたところ、FMBを知り、当地域でも実施したいと思った。地域防災の拠点となる法人事務所（大里綜合管理）を防災拠点とし、FMBを作り、減災に繋げるチャレンジをする。</p> <p>この取り組みが地域防災（共助）の様々な課題解決に資することができれば、全国に普及されていくと信じ良いものを作っていく。</p>
------	--

どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	大いに
実践内容・方法	<p>① FMB を始めた時、紙ベースの実物を見てもイメージがわからないと感じました。あまり思い悩まずに、まずは試作品を作り実践してみる事をお勧めします。</p> <p>② FMB は導入する組織・団体により個々にカスタマイズする必要があります。ここでの注意点は、登場人物（本部長・班長・班員等）をあまり多くしないということです。団体の構成人数程度、私たちの団体では10名程度での試作品を作り、試験的な訓練を行うと良いと思いました。一人が複数役をこなさないと、私たちの試作品段階のように20名以上の登場人物が必要となり試験的訓練の実施に、人数を集めることに苦労します。</p> <p>③ FMB を入れる箱は目立つものにすることが重要です。それを導入する場所の目立つ所に設置して下さい。目立つものが頻繁に人の行き来する場所に置いてあると関心が高まり、それを見る人々の防災意識の向上につながると思います。</p>  <p>④ FMB を使用した防災訓練が従来のものと大きく異なるのは、指示待ちでなく自発的に動くということです。このやり方では誰でも主人公（本部長）になれます。参加者は簡単な内容のミッションカードを読み→判断し→行動するという一連の行為を繰り返す事になります。これは昨今の教育現場で実施されている「アクティブラーニング」に合致したものになると考えます。</p>	

<p>得られた成果</p>	<p>活発な地域活動拠点である法人事務所のメインの場所に FMB を設置し、プレゼン資料（紙ベースと動画使用のデータベース）を準備したことで、地域に FMB の存在・内容を広く周知・広報できる体制を構築した。</p> <p>3回の FMB 訓練を実施し、FMB の質を向上させながら、子どもから高齢者まで幅広い層の防災意識の向上、防災力の重要性の認識等に資することができた。</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>かなり</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>少し</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>かなり</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<p>前述のとおり、FMB を始めた時、先行団体が作った紙ベースの実物を見ても正確に理解が出来ないと感じました。とりあえず試作品を作り、実践してみる事をお勧めします。</p> <p>FMB は導入する組織・団体により個々にカスタマイズする必要があります。それぞれの組織・団体により FMB 導入のメリットにも違いがあるように思います。</p> <p>我々が今回 FMB を設置した法人事務所は、活発な地域活動拠点であり。来訪者数は延べ年間数万人、メインフロアのど真ん中に赤く目立つ木の箱で設置したため、他団体からも大きな反響があり、個人からの質問も多く、大きな防災教育となっています。この様なメリットを考えれば、避難所に指定されている学校、大企業の受付等大人数が出入りする場所への設置は有用であると思います。</p> <p>大人数が出入しない場所の FMB のメリットを考えてみますと、少なくともその組織・団体の構成員への防災教育になります。その様な組織・団体の多くは災害マニュアルを整備していない事も多いのではないのでしょうか？ いわゆる災害マニュアルに比べて FMB の作成は容易です。</p> <p>また、FMB を使用した防災訓練では誰でも主人公（本部長）になれます。固いイメージのいわゆる災害マニュアルに比べて FMB はその製作過程も楽しんで行うことが出来ると思います。</p>	

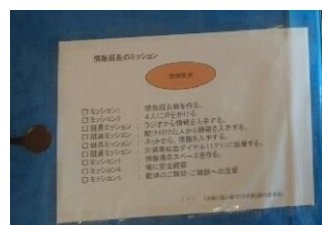
FMB はファイルの中に、1枚ずつ簡単なミッションが記されています。我々の作った FMB は TOTAL 60 数枚になります。それぞれが、1枚ずつ分離されており、訓練途中、本部長・各班長が全体像を把握することが困難になります。また、訓練終了後再設定することも容易ではありません。先行導入した飯田市では各カードの裏面に目次を記載しそのカードが目次の中のどの部分にあたるかを、表示してありました。

我々はこの点をミッションカードを収納する各ファイルの裏面に目次を貼り、また本部長ミッションに「目次の拡大コピーを壁に貼り付ける」を入れることで対応しました。また、終了したミッションカードは時刻とそれを読んだ人の名前を記し本部長席近くの壁に貼り付けることとし、ミッションの進捗が一目でわかる様にしました。

飯田市のミッションカード
裏面写真



我々の作ったFMBファイルの
裏面写真



本部長編目次の拡大コピー(下)と
終了済ミッションカードを貼った写真

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	株域会社危機管理教育研究所 国崎信江氏
関係者の説明	平成29年9月氏の防災セミナーを受講し、以後指導を受ける
関係者の連絡先	東京都中央区日本橋 3-6-11

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	飯田市危機管理室 防災係長 後藤武志氏
関係者の説明	ファーストミッションボックスを視察させていただいた
関係者の連絡先	長野県飯田市大久保 2534

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	葉山町立南郷中学校校長 益田孝彦氏（元葉山町立一色小学校校長）
関係者の説明	2017 実践団体避難所運営委員会の内容をご教授いただいた
関係者の連絡先	神奈川県三浦郡葉山町長柄 1835 5

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	君津市役所 危機管理室 平田修康氏
関係者の説明	ファーストミッションボックスを視察させていただいた
関係者の連絡先	君津市大久保2丁目13番1号

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	避難所に指定されている学校の教職員（防災教育に熱心な方）
伝えたい内容	FMBを導入し、目立つ場所に目立つ箱で設置して下さい。その存在が大きな防災教育となることを実感できると思います。またFMBを使用した防災訓練が従来のもので大きく異なるのは、指示待ちではなく自発的に動くということです。このやり方では誰でも主人公（本部長）になれます。参加者は簡単な内容のミッションカードを読み→判断し→行動するという一連の行為を繰り返す事になります。これは昨今の教育現場で実施されている「アクティブラーニング」に合致したものになると考えます。

伝えたい相手	防災マニュアルを設置していない団体（防災に関心のある方）
伝えたい内容	<p>一般的な災害マニュアルに比べて FMB の作成は容易です。</p> <p>また、FMB を使用した防災訓練が従来のもので大きく異なるのは、指示待ちではなく自発的に動くということです。このやり方では誰でも主人公（本部長）になれます。</p> <p>固いイメージの一般的な災害マニュアルに比べて FMB はその製作過程も楽しんで行うことが出来ると思います。</p>